

平成29年度

第3回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	平成29年度 市政モニター 179人
調査期間	平成29年12月1日(金)～平成29年12月15日(金)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	⑦ 新居浜市におけるスポーツ推進について ⑧ 新居浜市における文化振興について
回答率	

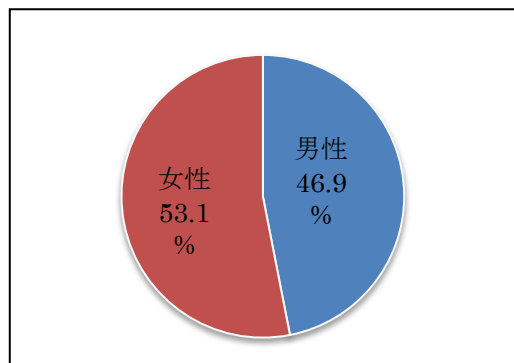
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
⑦	179	156	87.2%
⑧	179	151	84.4%

2 市政モニター内訳(※平成29年12月1日時点)

<性別>

(単位:人)

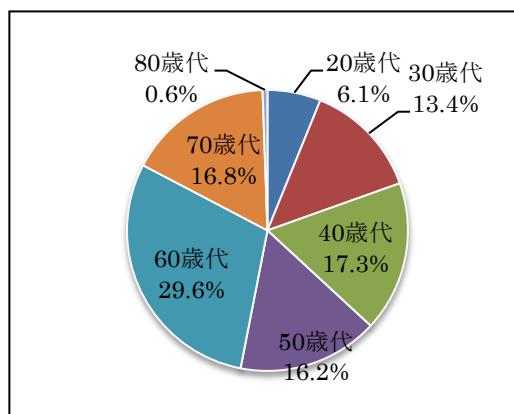
男性	84 (46.9%)
女性	95 (53.1%)
合計	179 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	9	11 (6.1%)
30歳代	4	20	24 (13.4%)
40歳代	8	23	31 (17.3%)
50歳代	12	17	29 (16.2%)
60歳代	35	18	53 (29.6%)
70歳代	22	8	30 (16.8%)
80歳以上	1	0	1 (0.6%)



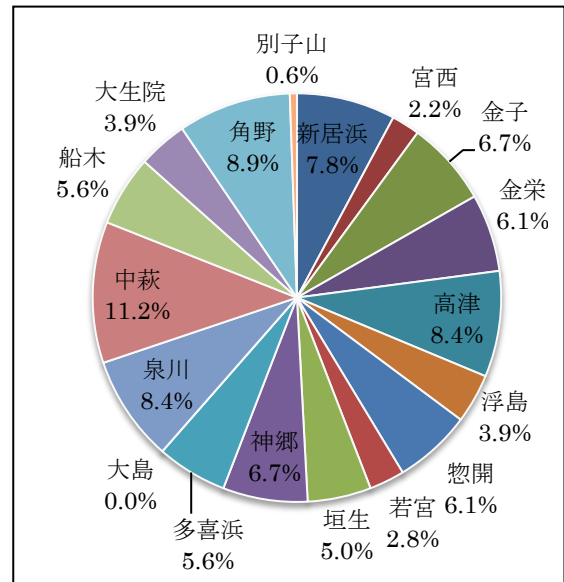
※年齢は平成29年4月1日時点

<居住地域(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	2	12	14 (7.8%)
宮西	3	1	4 (2.2%)
金子	10	2	12 (6.7%)
金栄	3	8	11 (6.1%)

高津	8	7	15 (8.4%)
浮島	4	3	7 (3.9%)
惣開	3	8	11 (6.1%)
若宮	4	1	5 (2.8%)
垣生	3	6	9 (5.0%)
神郷	7	5	12 (6.7%)
多喜浜	3	7	10 (5.6%)
大島	0	0	0 (0.0%)
泉川	12	3	15 (8.4%)
中萩	6	14	20 (11.2%)
船木	5	5	10 (5.6%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	8	8	16 (8.9%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	94 (52.5%)
Eメールモニター	85 (47.5%)
合計	179 (100.0%)

〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	93 (52.0%)
公募	86 (48.0%)
合計	179 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ⑦ 新居浜市におけるスポーツ推進について

【調査趣旨】

新居浜市では、市民一人ひとりが健康で明るく、生きがいを持って生き生きと暮らすことができるまちづくりを目指し、平成26年度に新居浜市スポーツ推進計画を策定し各種スポーツ事業を行っています。本計画においては、スポーツを「見る・する・支える」といった、一人ひとりのライフステージに合わせたスポーツを楽しむ場の充実を図り、市民（成人）の運動実施率の向上や、ジュニアスポーツの充実・ジュニアアスリートの育成などを目指しています。

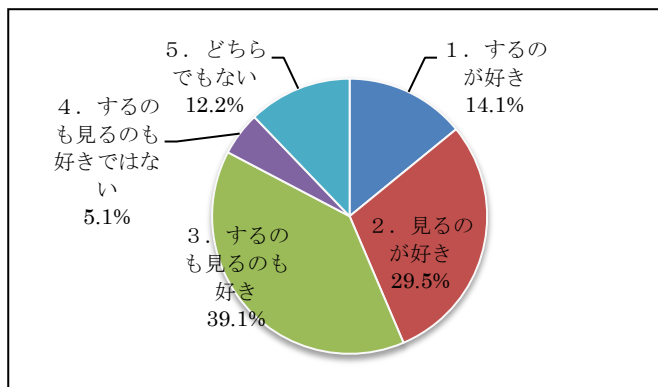
今回のアンケートでは、新居浜市のスポーツ推進について市民の皆さんの意識や意見を調査し、今後の計画推進に活用していきたいと考えています。

(担当課：スポーツ振興課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたはスポーツが好きですか？（1つ選択）

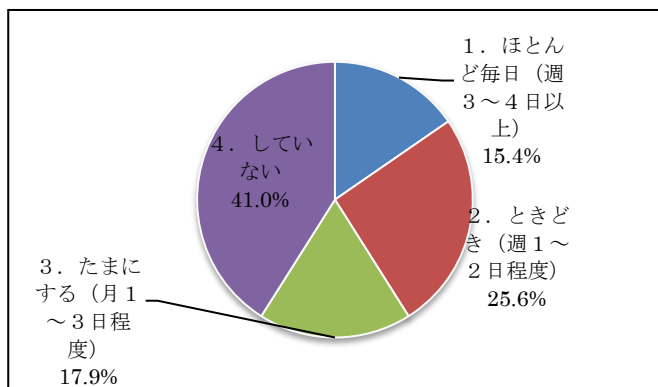
1. するのが好き	22人
2. 見るのが好き	46人
3. するのも見るのも好き	61人
4. するのも見るのも好きではない	8人
5. どちらでもない	19人
合計	156人



「3. するのも見るのも好き」(39.1%)と答えた方が最も多くなっています。

問3. あなたは運動・スポーツをしていますか？（1つ選択）

1. ほとんど毎日（週3～4日以上）	24人
2. ときどき（週1～2日程度）	40人
3. たまにする（月1～3日程度）	28人
4. していない	64人
合計	156人



「1. ほとんど毎日」(15.4%)、「2. ときどき」(25.6%)、「3. たまにする」(17.9%)を合わせると、頻度に関わらず何らかの運動・スポーツをしている方は全体の約6割となっています。

問4. 問3で「1. ほとんど毎日」「2. ときどき」「3. たまにする」と答えた方にお伺いします。 この1年で取り組んでいるスポーツは何ですか？（自由記入）

たくさんのお返事をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

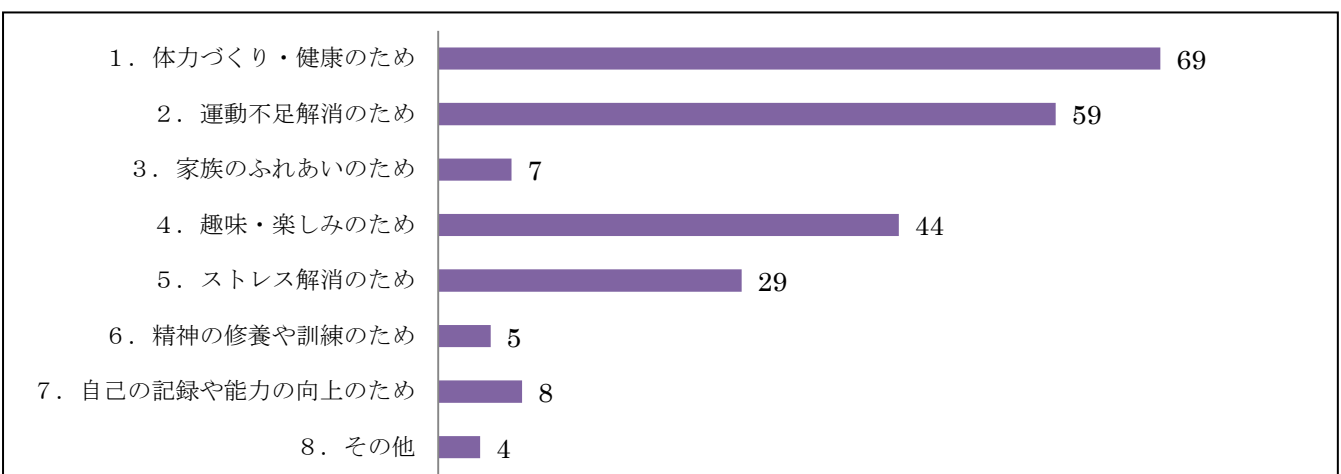
※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

- ・ウォーキング (28)
- ・ゴルフ、ゴルフトレーニング (16)
- ・バレーボール、ソフトバレー、レクバレー (12)
- ・体操（PPK体操や3B体操、リズム体操など）、ストレッチ等の軽運動 (10)
- ・ジョギング、ランニング (7)
- ・サイクリング、自転車 (7)
- ・ソフトボール、野球 (7)
- ・水泳、水中ウォーキング (6)
- ・筋力トレーニング、スクワット (6)
- ・スポーツジム通い (5)

- ・グラウンドゴルフ (5)
- ・卓球 (4)
- ・テニス・ソフトテニス (3)
- ・バドミントン (2)
- ・マラソン、競歩 (2)
- ・ヨガ、気功 (2)
- ・ダンスエアロ、スポーツダンス (2)
- ・ラージボール (2)
- ・地域のスポーツイベント等への参加 (2)
- ・サッカー、フットサル
- ・山登り
- ・ボルダリング
- ・テコンドー
- ・バスケットボール
- ・サーキットトレーニング
- ・SUP (スタンドアップパドルサーフィン)

問5. 問3で「1. ほとんど毎日」「2. ときどき」「3. たまにする」と答えた方にお伺いします。
 スポーツに取り組んでいる理由は何ですか？ (複数選択)

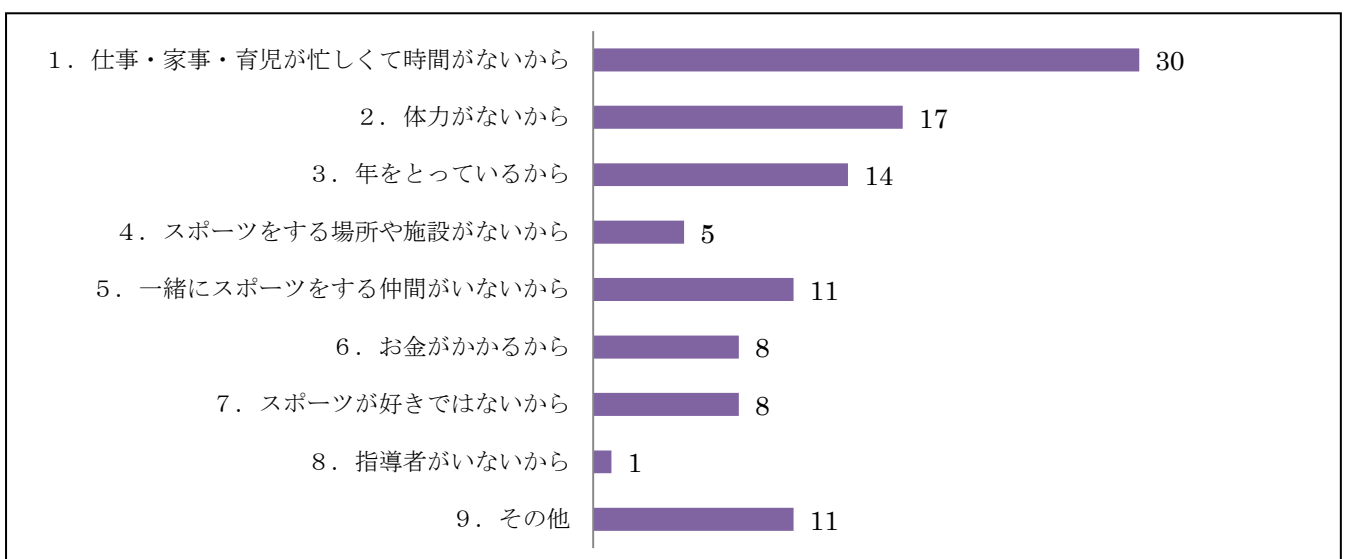
1. 体力づくり・健康のため	69人
2. 運動不足解消のため	59人
3. 家族のふれあいのため	7人
4. 趣味・楽しみのため	44人
5. ストレス解消のため	29人
6. 精神の修養や訓練のため	5人
7. 自己の記録や能力の向上のため	8人
8. その他	4人



「1. 体力づくり・健康のため」(69人)、「2. 運動不足解消のため」(59人)、「4. 趣味・楽しみのため」(44人)などが、スポーツに取り組んでいる理由として多く挙げられています。

問6. 問3で「4. していない」と答えた方にお伺いします。スポーツに取り組んでいない理由は何ですか？（複数選択）

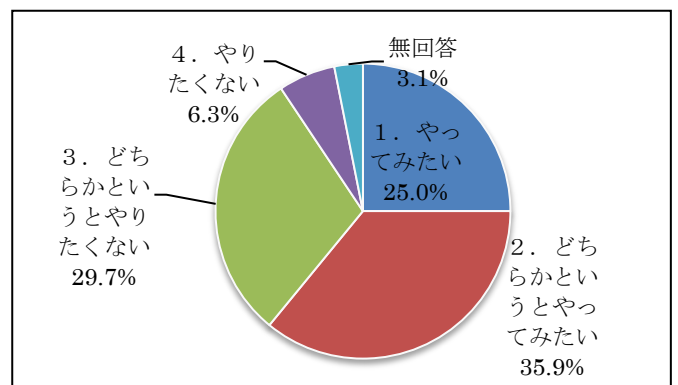
1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから	30人
2. 体力がないから	17人
3. 年をとっているから	14人
4. スポーツをする場所や施設がないから	5人
5. 一緒にスポーツをする仲間がないから	11人
6. お金がかかるから	8人
7. スポーツが好きではないから	8人
8. 指導者がいないから	1人
9. その他	11人



「1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから」(30人)、「2. 体力がないから」(17人)、「3. 年をとっているから」(14人)などが、スポーツに取り組んでいない理由として多く挙げられています。

問7. 問3で「4. していない」と答えた方にお伺いします。機会があれば、これから何かスポーツや運動をしてみたいと思いますか。（1つ選択）

1. やってみたい	16人
2. どちらかというやってみたい	23人
3. どちらかというやりたくない	19人
4. やりたくない	4人
無回答	2人
合計	64人



「1. やってみたい」(25.0%)、「2. どちらかというやってみたい」(35.9%)を合わせると、全体の約6割の方が、これから何かスポーツや運動をしてみたいと思っていますことがわかりました。

問8. 問7で「1. やってみたい」「2. どちらかというやってみたい」と答えた方にお伺いします。今後取り組んでみたいスポーツや運動は何ですか？（自由記入）

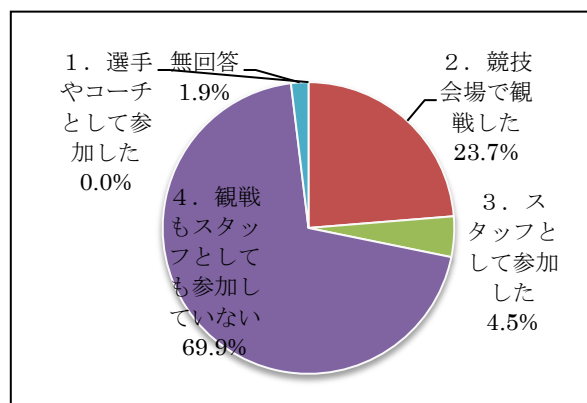
たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

※（ ）内は同種意見の方の数を示しています。

- ・テニス、ソフトテニス (8)
- ・ヨガ、ダンス (7)
- ・ウォーキング (6)
- ・ジョギング、ランニング (5)
- ・グラウンドゴルフ、ゲートボール (3)
- ・バレーボール、ソフトバレーボール (3)
- ・体操、ストレッチ等の軽運動 (3)
- ・マラソン (3)
- ・手軽にできる、始められる運動、スポーツ (3)
- ・自転車 (2)
- ・水泳 (2)
- ・卓球 (2)
- ・バスケットボール (2)
- ・スキー、スケート (2)
- ・野球
- ・バドミントン
- ・サッカー
- ・ボルダリング
- ・ロッククライミング
- ・リズム縄跳び
- ・和太鼓
- ・柔道
- ・弓道

問9. 全員にお伺いします。9月～10月に開催された「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体・えひめ大会」に参加しましたか？（1つ選択）

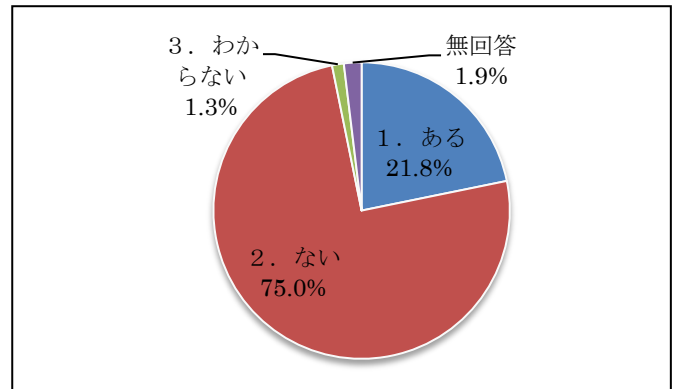
1. 選手やコーチとして参加した	0人
2. 競技会場で観戦した	37人
3. スタッフとして参加した	7人
4. 観戦もスタッフとしても参加していない	109人
無回答	3人
合計	156人



「4. 観戦もスタッフとしても参加していない」(69.9%)と答えた方が最も多く、全体の約7割を占めています。

問10. あなたはスポーツイベントにおいてボランティアをしたことがありますか？（1つ選択）

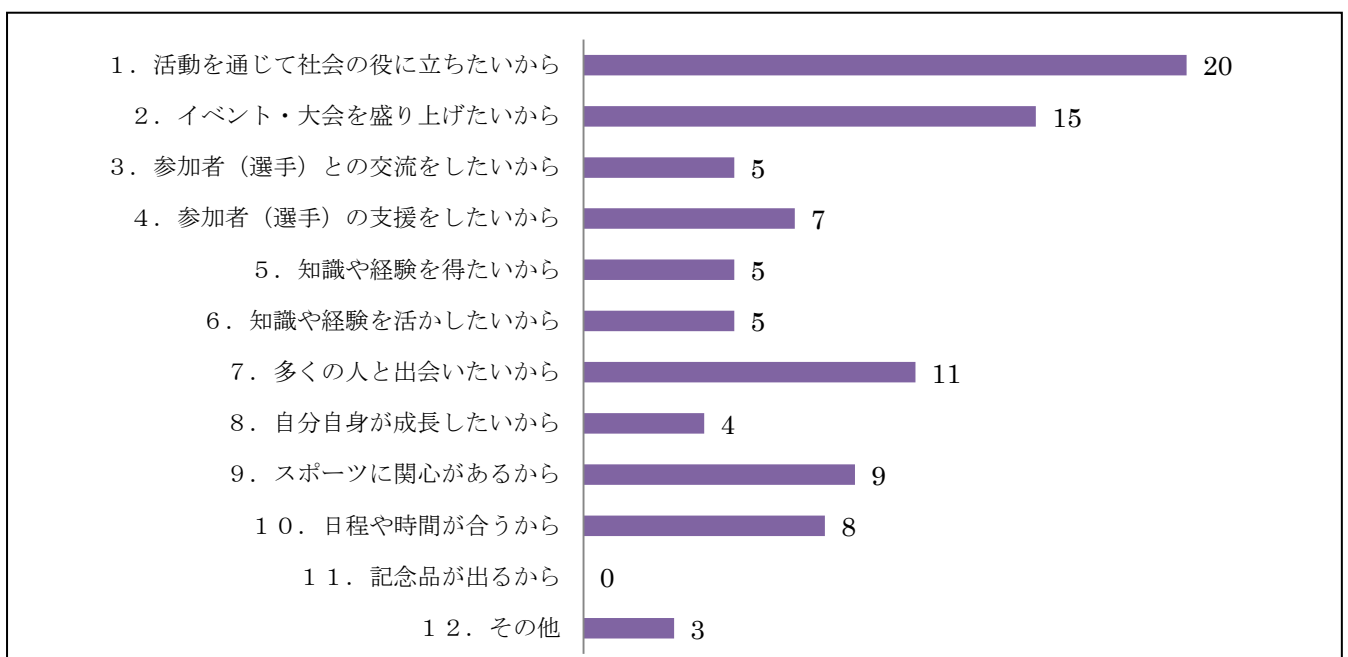
1. ある	34人
2. ない	117人
3. わからない	2人
無回答	3人
合計	156人



「2. ない」(75.0%)と答えた方が最も多く、全体の7割以上となっています。

問11. 問10で「1. ある」と答えた方にお伺いします。スポーツに関するボランティアをしている(したことがある)のはどうしてですか？（複数選択）

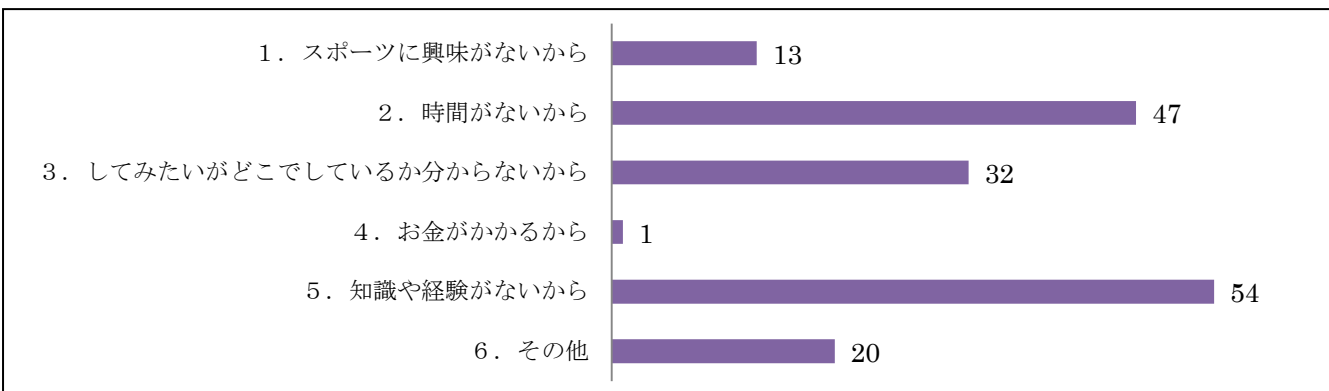
1. 活動を通じて社会の役に立ちたいから	20人
2. イベント・大会を盛り上げたいから	15人
3. 参加者（選手）との交流をしたいから	5人
4. 参加者（選手）との支援をしたいから	7人
5. 知識や経験を得たいから	5人
6. 知識や経験を活かしたいから	5人
7. 多くの人と出会いたいから	11人
8. 自分自身が成長したいから	4人
9. スポーツに関心があるから	9人
10. 日程や時間が合うから	8人
11. 記念品が出るから	0人
12. その他	3人



「1. 活動を通じて社会の役に立ちたいから」(20人)、「2. イベント・大会を盛り上げたいから」(15人)、「7. 多くの人と出会いたいから」(11人)などが、スポーツに関するボランティアをしている(したことがある)理由として多く挙げられています。

問12. 問10で「2. ない」と答えた方にお伺いします。スポーツに関するボランティアをしたことがないのはどうしてですか？(複数選択)

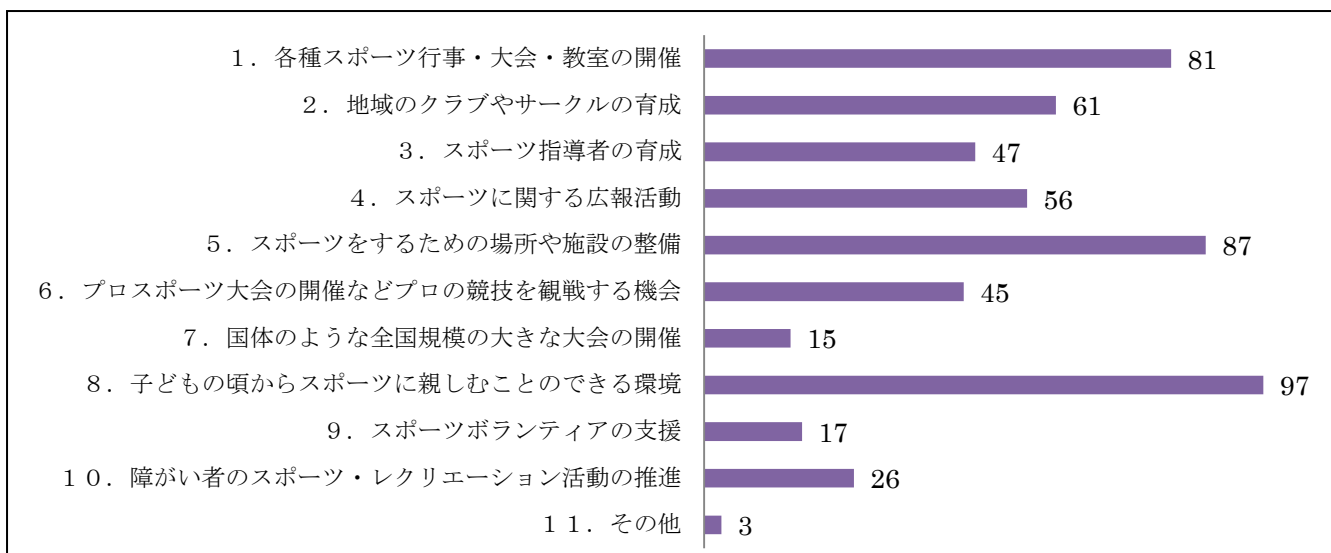
1. スポーツに興味がないから	13人
2. 時間がないから	47人
3. してみたいがどこでしているか分からないから	32人
4. お金がかかるから	1人
5. 知識や経験がないから	54人
6. その他	20人



「5. 知識や経験がないから」(54人)、「2. 時間がないから」(47人)、「3. してみたいがどこでしているか分からないから」(32人)などが、スポーツに関するボランティアをしたことがない理由として多く挙げられています。

問13. 全員にお伺いします。新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにするために何が必要だと思いますか？(複数選択)

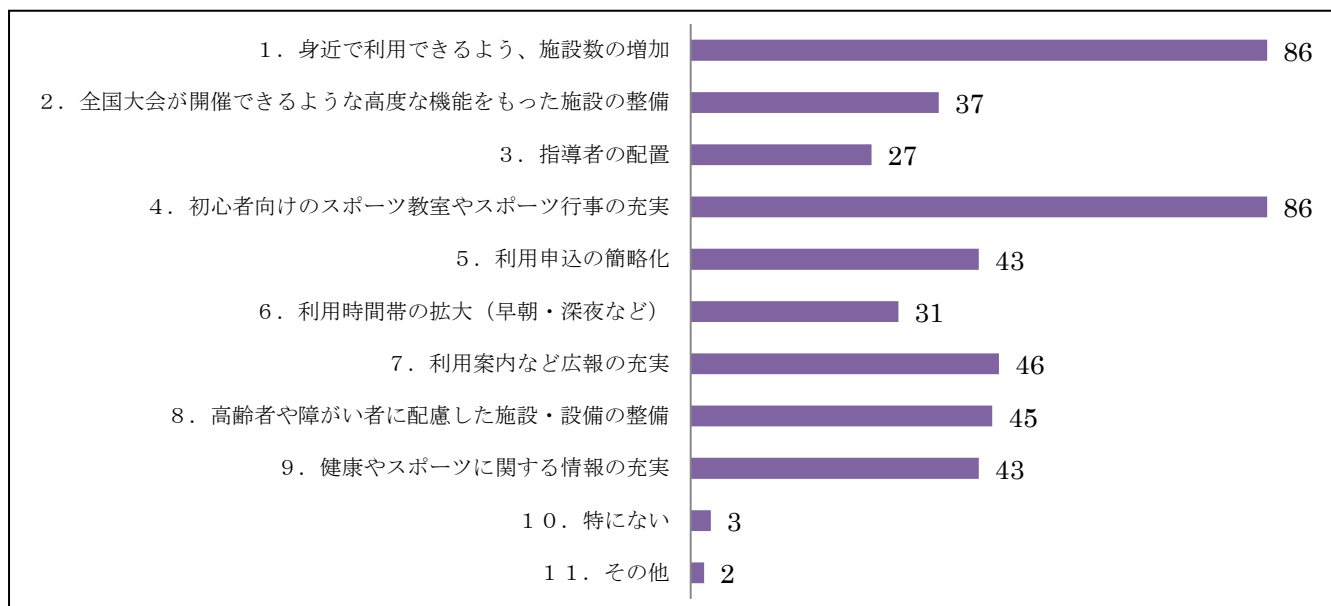
1. 各種スポーツ行事・大会・教室の開催	81人
2. 地域のクラブやサークルの育成	61人
3. スポーツ指導者の育成	47人
4. スポーツに関する広報活動	56人
5. スポーツをするための場所や施設の整備	87人
6. プロスポーツ大会の開催などプロの競技を観戦する機会	45人
7. 国体のような全国規模の大きな大会の開催	15人
8. 子どもの頃からスポーツに親しむことのできる環境	97人
9. スポーツボランティアの支援	17人
10. 障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の推進	26人
11. その他	3人



「8. 子どもの頃からスポーツに親しむことのできる環境」(97人)、「5. スポーツをするための場所や施設の整備」(87人)、「1. 各種スポーツ行事・大会・教室の開催」(81人)などが、新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにするために必要なこととして多く挙げられています。

問14. あなたは、新居浜市の公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか？(複数選択)

1. 身近で利用できるよう、施設数の増加	86人
2. 全国大会が開催できるような高度な機能をもった施設の整備	37人
3. 指導者の配置	27人
4. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実	86人
5. 利用申込の簡略化	43人
6. 利用時間帯の拡大(早朝・深夜など)	31人
7. 利用案内など広報の充実	46人
8. 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備	45人
9. 健康やスポーツに関する情報の充実	43人
10. 特にない	3人
11. その他	2人



「1. 身近で利用できるよう、施設数の増加」(86人)、「4. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(86人)などが、新居浜市の公共スポーツ施設について望むこととして多く挙げられています。

問15. あなたが今後市のスポーツ振興に望むことがありましたら自由にご記入ください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・スポーツを通して、達成感や親睦、友和、健康等、得られるものが多いので、各年代層に合わせたスポーツイベントを提供し、もっと地域の裾野を広げていくべきだと思う。
- ・毎年、瀬戸内しまなみ海道でのウォーキング大会に参加しています。日本全国さらには外国からも参加者がおり、宿泊施設もないほど賑わっており、経済効果も大変大きいと思います。新居浜市にも別子銅山、塩の施設、また大島もあります。そのあたりを考えて、ウォーキングイベント等を実施すれば、市の活性化につながるのではないのでしょうか。
- ・国体のように一挙に大会を開催して終わるのではなく、全国レベルの高校・大学・プロのスポーツ競技をその都度見られたら良いと思います。
- ・天候に関係なくスポーツのできる場所があればいいと思う。
- ・市民体育館の設備の充実。新しく建て直すか、それが無理ならせめて冷暖房は完備してほしい。
- ・市民体育館や山根体育館の空調設備の設置や老朽化への対応。
- ・プールの施設特に悪い。もう少しきれいなプールにしてほしい。
- ・市営球場周辺の整備、特に駐車場が少ない。サブグラウンドがなく、大きな大会では集客が望めない。
- ・各スポーツの競技場はあるが、プロが公式戦を行える競技場がない。
- ・現在は各施設が分散しているため利用が不便である。総合運動公園が計画されているようですが、早い実現を望みます。
- ・交通の良いところに施設を作ってください。
- ・ただ施設があるだけ、にならないように、何を目的に市がスポーツに取り組むのか、その意義などを明確にしないといけないと思う。
- ・誰でもいつでも参加できる環境の整備。高齢の方でもトレーニングや体操を思い立った時に参加できる場所があればいいと思う。
- ・高齢者でも簡単に気軽に参加できるようなスポーツがもっと増えるといいと思います。
- ・以前に高齢者生きがい創造学園の講座で、ラージボール卓球教室を受講しました。私は全くの初心者でしたが楽しく参加させていただきました。市で高齢者対象のスポーツ教室を開催してもらえれば、参加してみようかなと考える人はたくさんいると思います。
- ・安い値段で受講できるヨガ教室などを増やしてほしい。市民体育館で平日午前に行っているヨガ教室には時間が合わず行けていない。夜間や土日等も開催してほしい。
- ・施設の弾力的な運用。現在、休館日である第一月曜日の平常運用、高齢者割引、年末年始の利用等。
- ・初心者でも簡単にできて、楽しめるスポーツをする機会があれば参加したいが、なかなかない。子どもと一緒にできるものがあると嬉しい。
- ・施設の充実も大切ですが、子育て中のお母さんたちも参加できるように託児所を設けるような環境づくりも大切です。できる人だけがやればいいではなく、子育て中でも安心してできる環境をつくってほしい。
- ・新居浜市をスポーツが盛んなまちにするためには、気軽に声をかけて誰でも参加できるような環境整備が必要です。体育館で誰でも参加できるこんなスポーツをやっています、とか河川敷で地区対抗のソフトボール大会やサッカーをします、などのアナウンスが必要です。

- ・子どもがボール遊びできる場所があまりない。公園でもボール遊びがなかなかできない。ボールに触れる機会が少ないと、スポーツに親しむことが難しいと思う。
- ・子どもたち、とくに中学生の部活動は数年内に学校の手を離れると思う。行政で小中学生のスポーツ育成機関をつくってください。
- ・トップクラスのアスリートを育ててみたらどうでしょう。皆、スポーツに興味を持つのでは。
- ・新居浜市から全国大会に、県代表として出場するチーム（中学・高校・社会人クラブチーム等）が毎年出るようになれば、市民の関心も深まり、スポーツ人口の増加につながり、底辺の拡大にもなると思います。そのためには指導者の育成が不可欠です。

<まとめ>

新居浜市では、平成25年度に新居浜市スポーツ振興計画を策定し各種スポーツ事業を行っており、スポーツを「する・見る・支える」といった、一人ひとりのライフステージに合わせたスポーツを楽しむ場の充実を図っています。今回のアンケートは新居浜市のスポーツ振興について市民の皆さんの意識や意見を調査し、今後の計画推進に活用させていただくために実施しました。

調査結果として、8割以上の方が、スポーツを「する」または「見る」のが好きと答えており、スポーツへの関心が非常に高いことが分かります。好きと答えた方のうち約6割の方が現在運動・スポーツをしていること、また現在していない方のうち約6割の方が今後何かスポーツや運動をしてみたいという結果となっていることから、多くの方がスポーツをすることに興味を持っていることが分かりました。また、現在取り組んでいるスポーツとして、ゴルフ・バレーボール・ソフトボール等といったスポーツから、ウォーキング・体操・ジョギング等の気軽に取り組める運動、またボルダリングやSUPといった専門的なスポーツまで、多種多様に渡る種目に取り組まれていることが分かりました。

次に、スポーツイベントにおけるボランティア経験については、全体の7割以上が「ない」と答えています。「ない」と答えている人のうち、約2割の方がしたことがない理由に「してみたいがどこでしているか分からないから」と答えています。スポーツを支えるためには、ボランティアはなくてはならない存在です。今後はイベントやボランティアの機会を積極的にPRするなどの必要があることが分かりました。

今回のアンケートでは、新居浜市をもっとスポーツが盛んなまちにし、スポーツを振興していくためのご意見として、子どもの頃からスポーツに親しむことのできる環境づくりや、体育施設の整備に対する要望、多くの方がスポーツに親しむことのできる機会として各種行事や大会・教室等の開催をすること、また新居浜市におけるスポーツ人口増加のためのトップアスリート育成など、非常に参考となるご意見をいただきました。

平成30年度には新居浜市スポーツ推進計画の中間評価を行う予定です。今回のご意見を参考に、沢山の市民の方にもっとスポーツを身近に感じていただけるよう本市の推進計画を見直して参ります。

また、時期を見て市民の皆様にもご意見を頂くことを考えておりますので、引き続き本市のスポーツ振興に関する取り組みに対するご理解とご協力をお願いいたします。

(担当課：スポーツ振興課)

テーマ⑧ 新居浜市における文化振興について

【調査趣旨】

新居浜市では、芸術文化の香り高いまちづくりを目指し、平成27年7月に開館したあかがねミュージアムを中心に様々な文化事業を実施しています。平成29年度は市制施行80周年という節目の年にあたり、「近藤勝也展」をはじめとした多くの記念事業を開催しました。

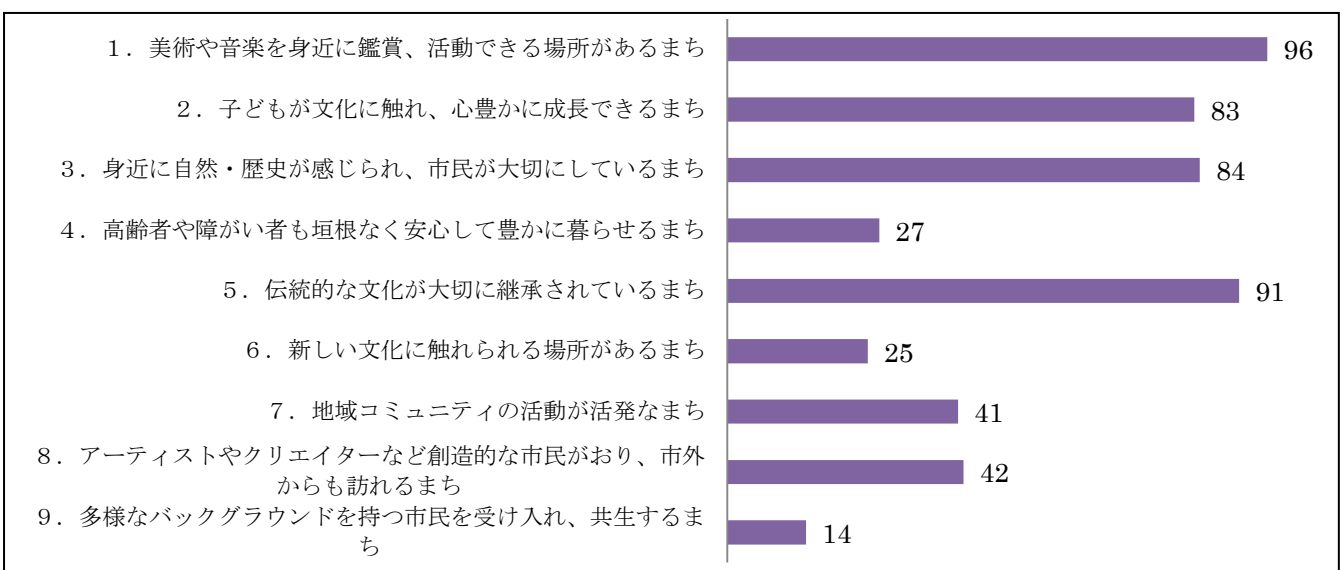
今回のアンケートでは、新居浜市で現在実施している文化事業、文化財保護をはじめとした文化政策全般について市民の皆さんの意識を調査し、今後の活動に活用していきたいと考えています。

(担当課：文化振興課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市は第五次長期総合計画の中で「芸術文化の香りを未来に伝えるまちづくり」の実現を目指していますが、「文化の香り高いまち」という言葉からどのようなまちをイメージしますか。(複数選択)

1. 美術や音楽を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち	96人
2. 子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまち	83人
3. 身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしているまち	84人
4. 高齢者や障がい者も垣根なく安心して豊かに暮らせるまち	27人
5. 伝統的な文化が大切に継承されているまち	91人
6. 新しい文化に触れられる場所があるまち	25人
7. 地域コミュニティの活動が活発なまち	41人
8. アーティストやクリエイターなど創造的な市民がおり、市外からも訪れるまち	42人
9. 多様なバックグラウンドを持つ市民を受け入れ、共生するまち	14人

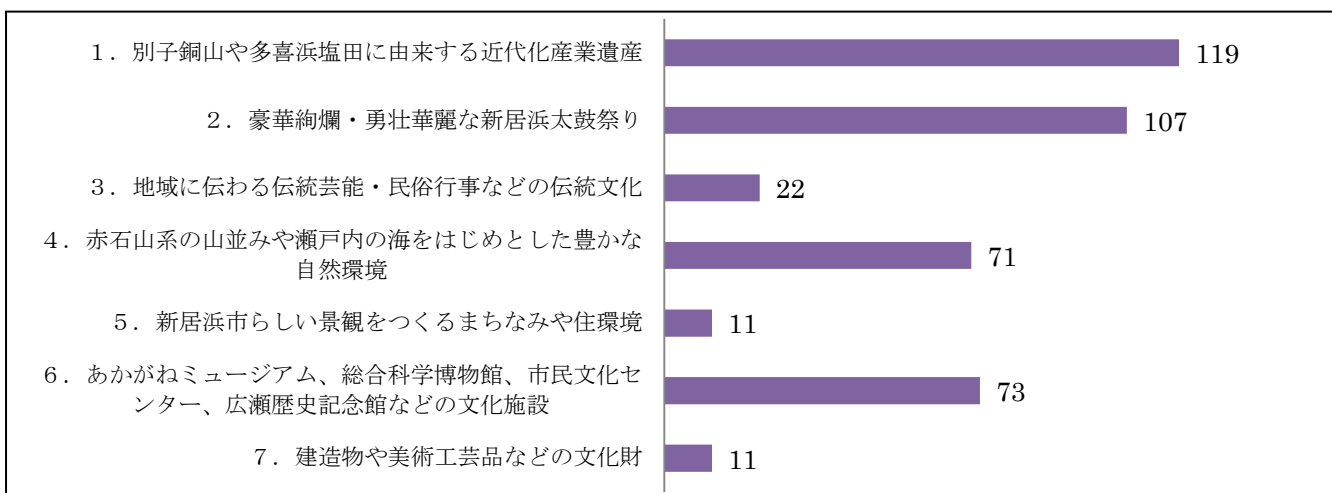


「1. 美術や音楽を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち」(96人)、「5. 伝統的な文化が大切に継承されているまち」(91人)、「3. 身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしているまち」(84人)、「2. 子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまち」(83人)などが、「文化の香り高いまち」という言葉からイメージす

るまちとして多く挙げられています。

問3. 新居浜市のまちの魅力につながっている文化資源は何だと思いますか。(複数選択)

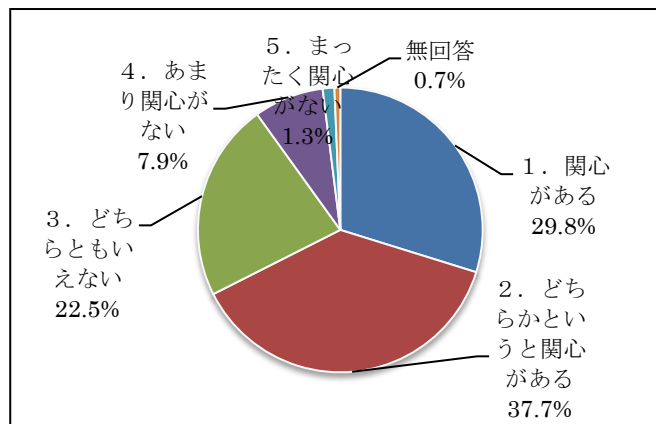
1. 別子銅山や多喜浜塩田に由来する近代化産業遺産	119人
2. 豪華絢爛・勇壮華麗な新居浜太鼓祭り	107人
3. 地域に伝わる伝統芸能・民俗行事などの伝統文化	22人
4. 赤石山系の山並みや瀬戸内の海をはじめとした豊かな自然環境	71人
5. 新居浜市らしい景観をつくるまちなみや住環境	11人
6. あかがねミュージアム、総合科学博物館、市民文化センター、広瀬歴史記念館などの文化施設	73人
7. 建造物や美術工芸品などの文化財	11人



「1. 別子銅山や多喜浜塩田に由来する近代化産業遺産」(119人)、「2. 豪華絢爛・勇壮華麗な新居浜太鼓祭り」(107人)、「6. あかがねミュージアム、総合科学博物館、市民文化センター、広瀬歴史記念館などの文化施設」(73人)、「4. 赤石山系の山並みや瀬戸内の海をはじめとした豊かな自然環境」(71人)などが、新居浜のまちの魅力につながっている文化資源として多く挙げられています。

問4. あなたは、芸術の鑑賞や創作などの文化的な体験や活動に関心を持っていますか。(1つ選択)

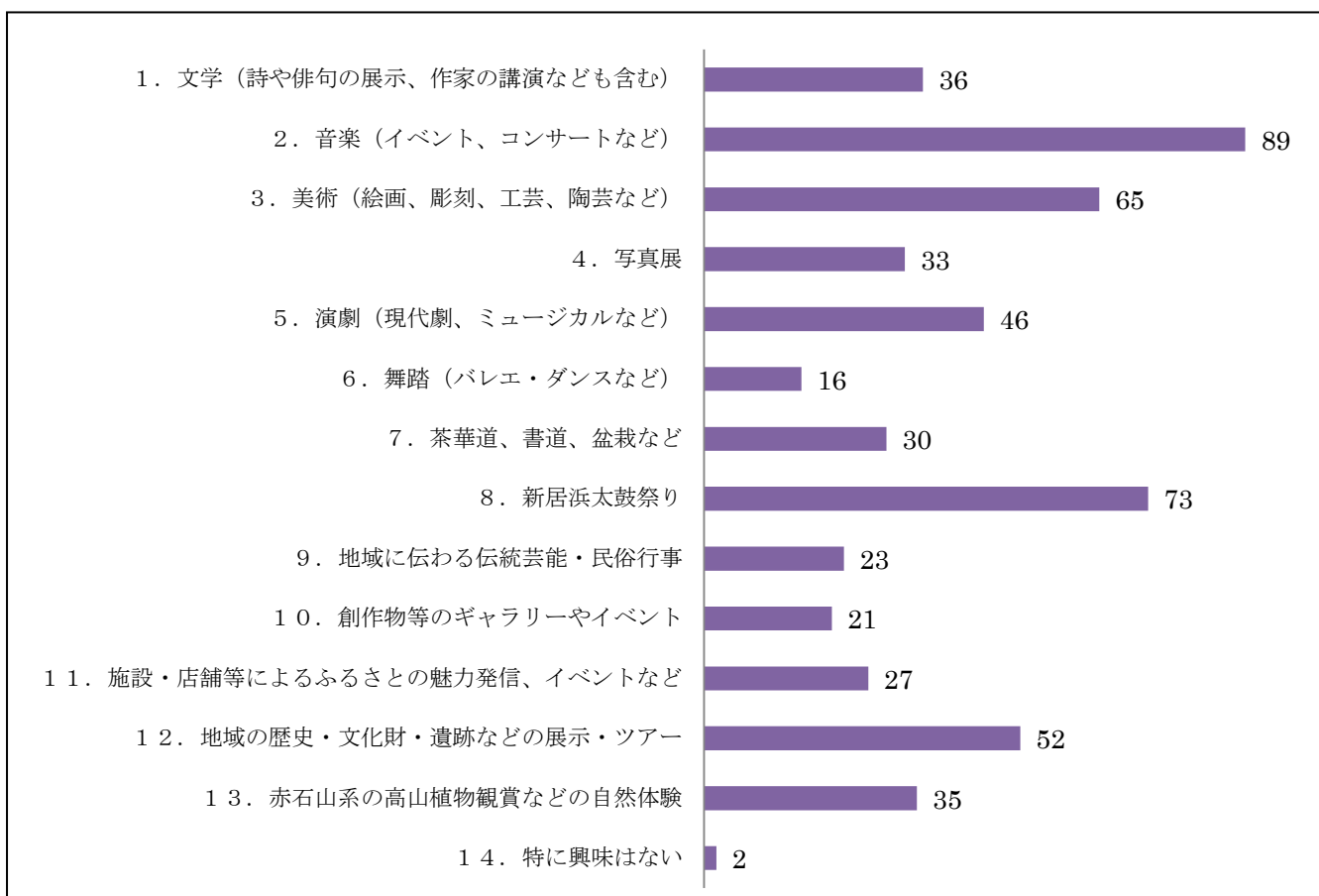
1. 関心がある	45人
2. どちらかというに関心がある	57人
3. どちらともいえない	34人
4. あまり関心がない	12人
5. まったく関心がない	2人
無回答	1人
合計	151人



「2. どちらかというに関心がある」(37.7%)と答えた方が最も多く、「1. 関心がある」(29.8%)を合わせて、6割以上の方が芸術の鑑賞や創作などの文化的な体験や活動に関心を持っていることがわかりました。

問5. 文化的行事の中で、あなたが興味のある分野はどれですか。(複数選択)

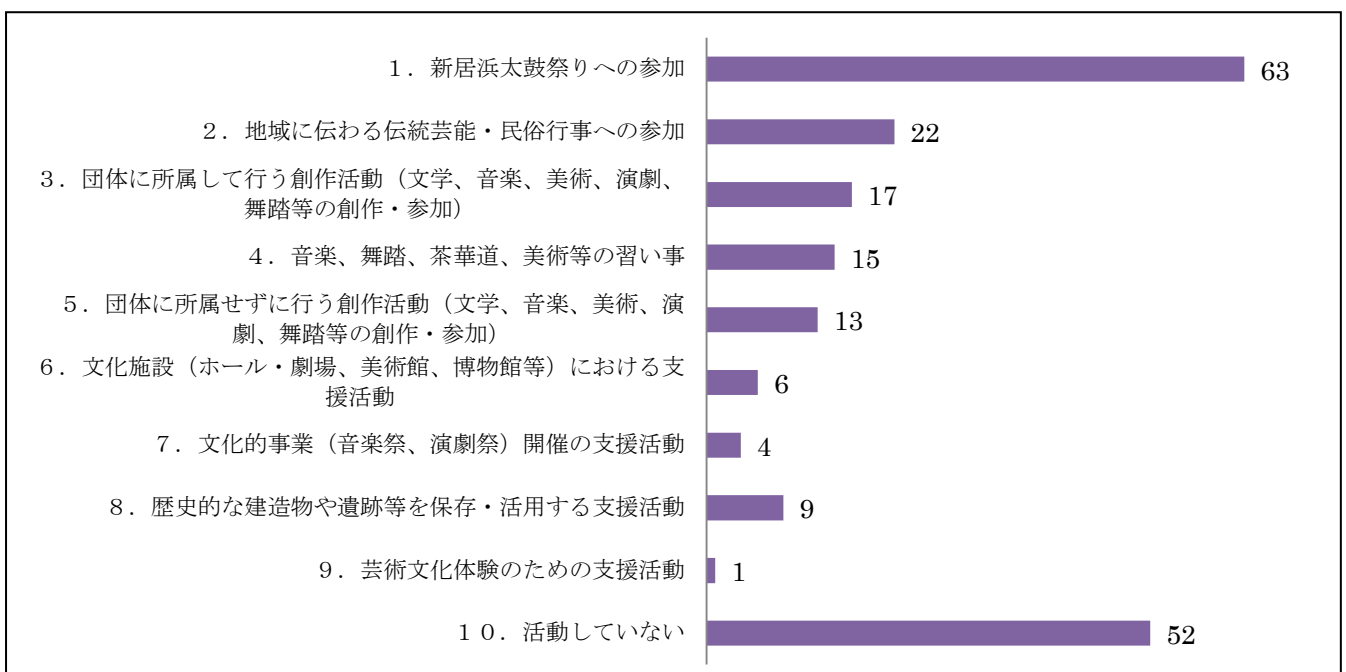
1. 文学 (詩や俳句の展示、作家の講演なども含む)	36 人
2. 音楽 (イベント、コンサートなど)	89 人
3. 美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	65 人
4. 写真展	33 人
5. 演劇 (現代劇、ミュージカルなど)	46 人
6. 舞踏 (バレエ・ダンスなど)	16 人
7. 茶華道、書道、盆栽など	30 人
8. 新居浜太鼓祭り	73 人
9. 地域に伝わる伝統芸能・民俗行事	23 人
10. 創作物等のギャラリーやイベント	21 人
11. 施設・店舗等によるふるさとの魅力発信、イベントなど	27 人
12. 地域の歴史・文化財・遺跡などの展示・ツアー	52 人
13. 赤石山系の高山植物観賞などの自然体験	35 人
14. 特に興味はない	2 人



「2. 音楽 (イベント、コンサートなど)」(89人)、「8. 新居浜太鼓祭り」(73人)、「3. 美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸など)」(65人)、「12. 地域の歴史・文化財・遺跡などの展示・ツアー」(52人)、「5. 演劇 (現代劇、ミュージカルなど)」(46人)などが、文化的行事の中で興味のある分野として多く挙げられています。

問6. あなたは、過去1年間でどのような芸術文化に関わる活動を実施しましたか。(複数選択)

1. 新居浜太鼓祭りへの参加	63人
2. 地域に伝わる伝統芸能・民族行事への参加	22人
3. 団体に所属して行う創作活動(文学、音楽、美術、演劇、舞踏等の創作・参加)	17人
4. 音楽、舞踏、茶華道、美術等の習い事	15人
5. 団体に所属せずに行う創作活動(文学、音楽、美術、演劇、舞踏等の創作・参加)	13人
6. 文化施設(ホール・劇場、美術館、博物館等)における支援活動	6人
7. 文化的事業(音楽祭、演劇祭)開催の支援活動	4人
8. 歴史的な建造物や遺跡等を保存・活用する支援活動	9人
9. 芸術文化体験のための支援活動	1人
10. 活動していない	52人

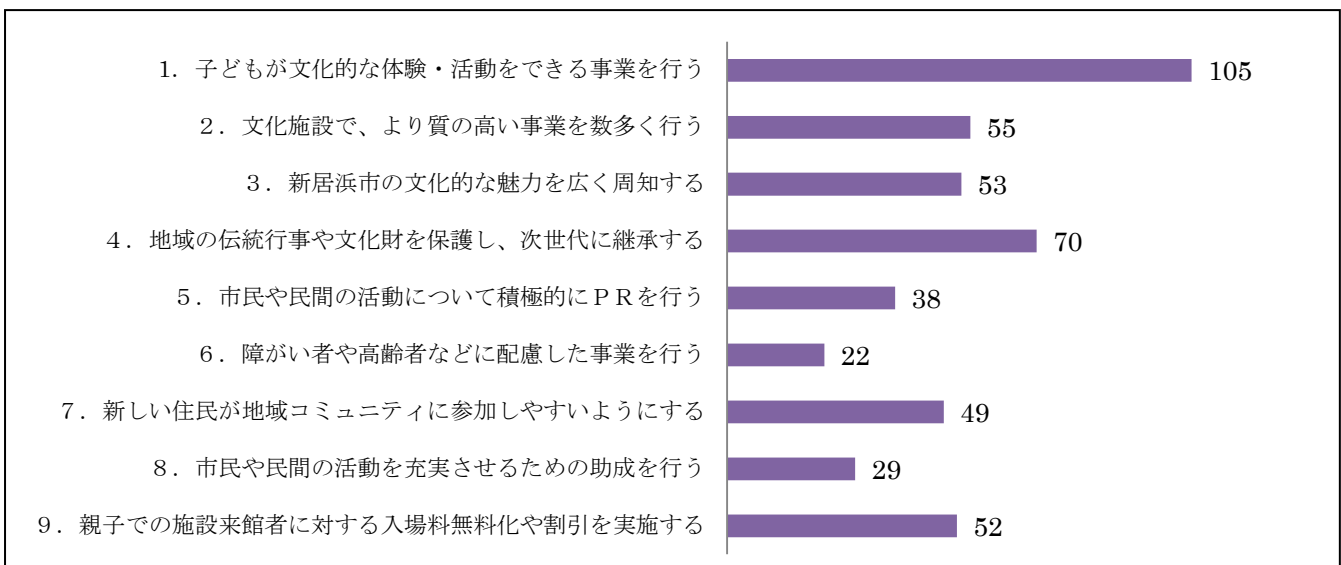


「1. 新居浜太鼓祭りへの参加」(63人)が、過去1年間の芸術文化に関わる活動として多く挙げられた一方、「10. 活動していない」(52人)と答えた方も多くなっています。

問7. 今後、新居浜市の芸術文化を発展させるために、市が行うべきだと思うことは何ですか。(複数選択)

1. 子どもが文化的な体験・活動ができる事業を行う	105人
2. 文化施設で、より質の高い事業を数多く行う	55人
3. 新居浜市の文化的な魅力を広く周知する	53人
4. 地域の伝統行事や文化財を保護し、次世代に継承する	70人
5. 市民や民間の活動について積極的にPRを行う	38人
6. 障がい者や高齢者などに配慮した事業を行う	22人
7. 新しい住民が地域コミュニティに参加しやすいようにする	49人

8. 市民や民間の活動を充実させるための助成を行う	29人
9. 親子での施設来館者に対する入場料無料化や割引を実施する	52人

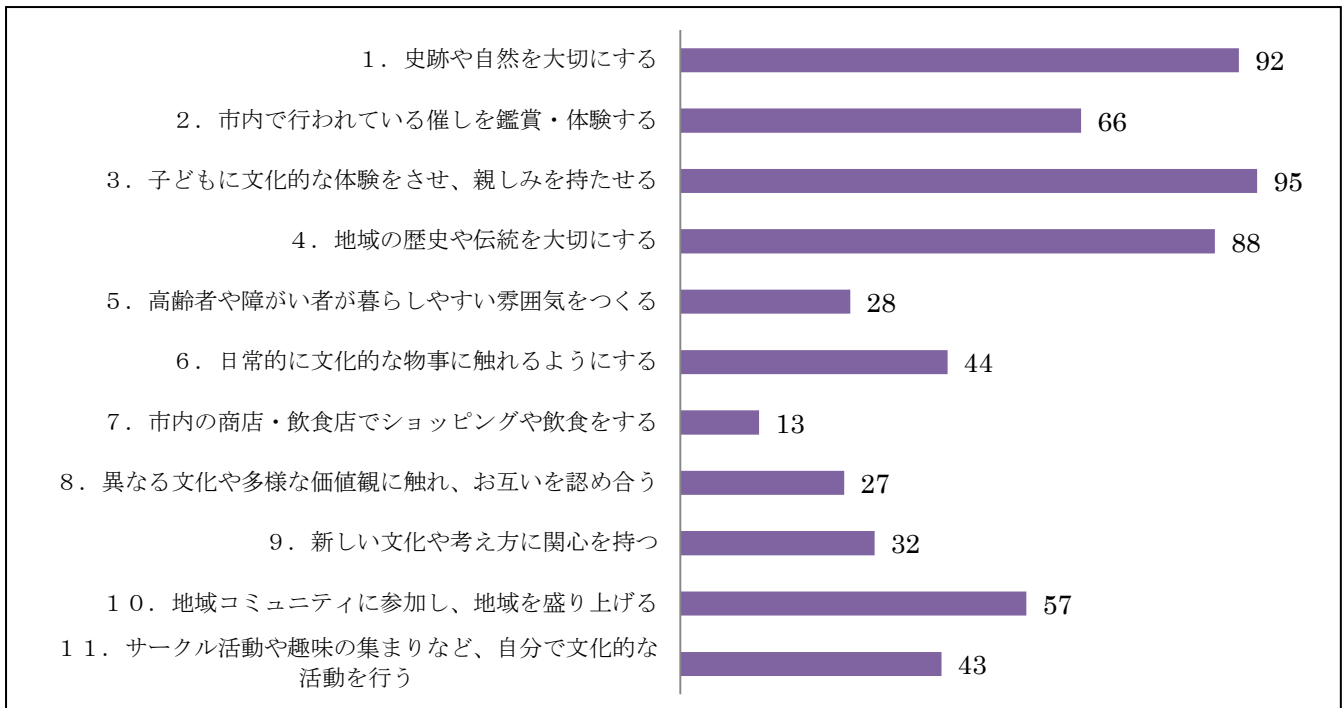


「1. 子どもが文化的な体験・活動ができる事業を行う」(105人)、「4. 地域の伝統行事や文化財を保護し、次世代に継承する」(70人)、「2. 文化施設で、より質の高い事業を数多く行う」(55人)、「3. 新居浜市の文化的魅力を広く周知する」(53人)などが、新居浜市の芸術文化を発展させるために市が行うべきこととして多く挙げられています。

問8. 今後、新居浜市の芸術文化を発展させるために、市民が行うべきだと思うことは何ですか。(複数選択)

1. 史跡や自然を大切にする	92人
2. 市内で行われている催しを鑑賞・体験する	66人
3. 子どもに文化的な体験をさせ、親しみを持たせる	95人
4. 地域の歴史や伝統を大切にする	88人
5. 高齢者や障がい者が暮らしやすい雰囲気をつくる	28人
6. 日常的に文化的な物事に触れるようにする	44人
7. 市内の商店・飲食店でショッピングや飲食をする	13人
8. 異なる文化や多様な価値観に触れ、お互いを認め合う	27人
9. 新しい文化や考え方に興味を持つ	32人
10. 地域コミュニティに参加し、地域を盛り上げる	57人
11. サークル活動や趣味の集まりなど、自分で文化的な活動を行う	43人

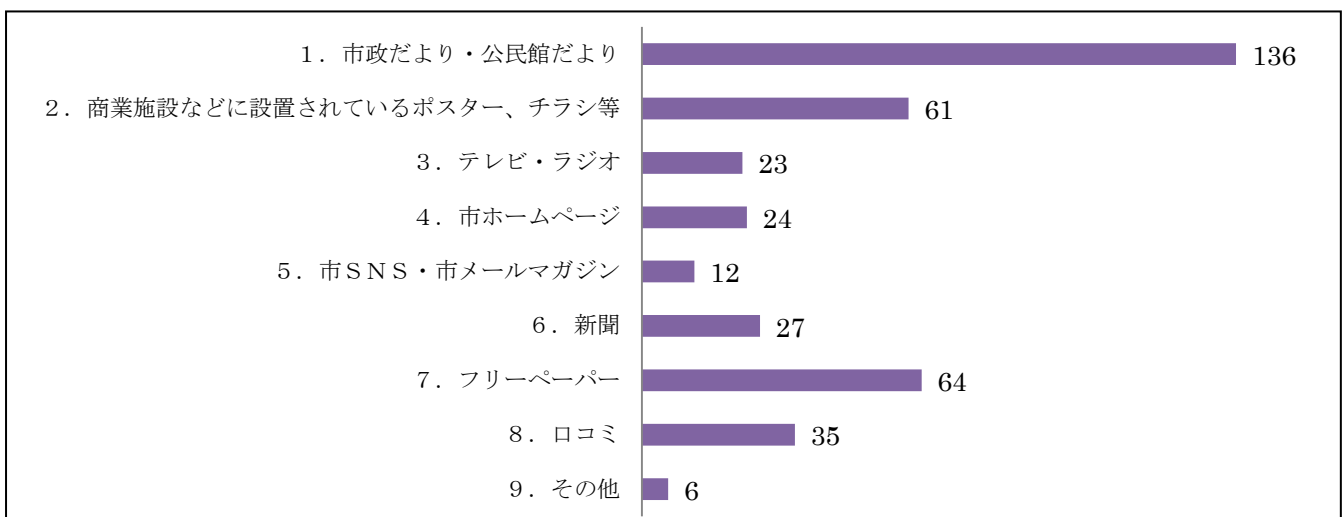




「3. 子どもに文化的な体験をさせ、親しみを持たせる」(95人)、「1. 史跡や自然を大切にする」(92人)、「4. 地域の歴史や伝統を大切にする」(88人)などが、新居浜市の芸術文化を発展させるために、市民が行うべきこととして多く挙げられています。

問9. 市の文化事業（演奏会や美術館企画展などのイベント）の情報について、何によって知ることが多いですか。（複数選択）

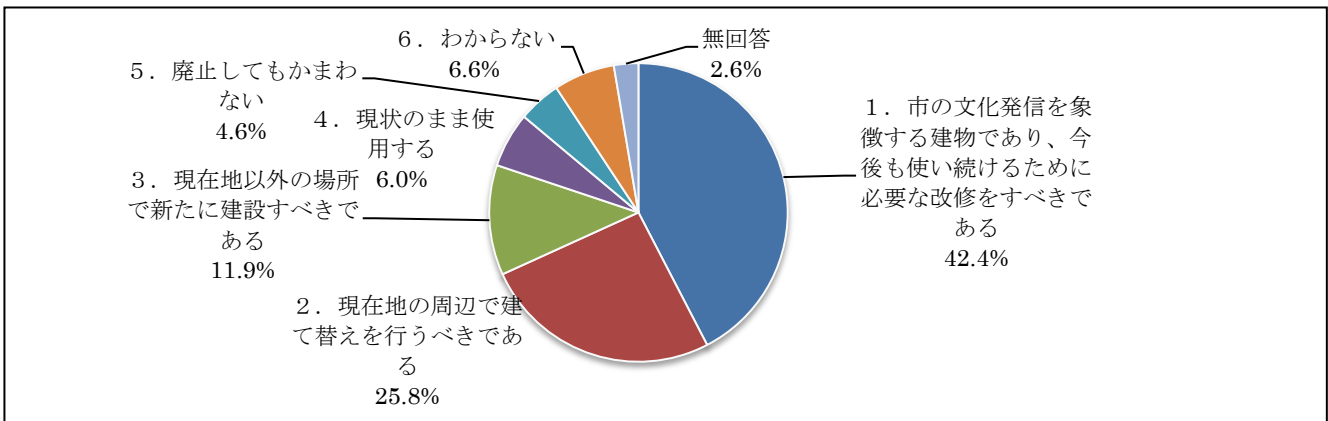
1. 市政だより・公民館だより	136人
2. 商業施設などに設置されているポスター、チラシ等	61人
3. テレビ・ラジオ	23人
4. 市ホームページ	24人
5. 市SNS（フェイスブック、ツイッターなど）・市メールマガジン	12人
6. 新聞	27人
7. フリーペーパー	64人
8. 口コミ	35人
9. その他	6人



「1. 市政だより・公民館だより」(136人)、「7. フリーペーパー」(64人)、「2. 商業施設などに設置されているポスター、チラシ等」(61人)などが、市の文化事業の情報を得る手段として多く挙げられています。

問10. 市民文化センター大ホール、別館、中ホールはいずれも長い歴史を持つ建物です。今後の市民文化センターのあり方について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

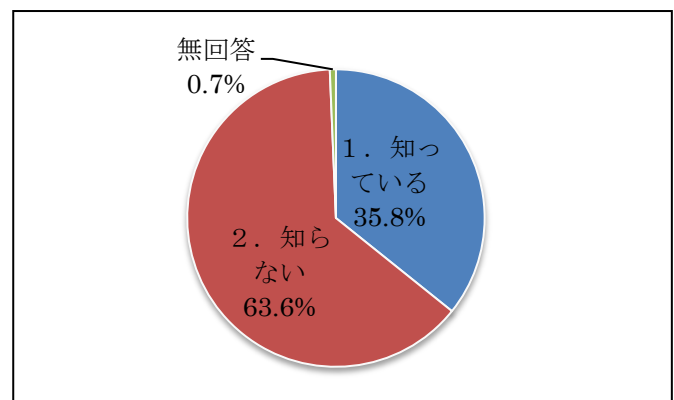
1. 市の文化発信を象徴する建物であり、今後も使い続けるために必要な改修をすべきである	64人
2. 現在地の周辺で建て替えを行うべきである	39人
3. 現在地以外の場所で新たに建設すべきである	18人
4. 現状のまま使用する	9人
5. 廃止してもかまわない	7人
6. わからない	10人
無回答	4人
合計	151人



「1. 市の文化発信を象徴する建物であり、今後も使い続けるために必要な改修をすべきである」(42.4%)と答えた方が最も多く、次いで、「2. 現在地の周辺で建て替えを行うべきである」(25.8%)、「3. 現在地以外の場所で新たに建設すべきである」(11.9%)の順となっています。

問11. あなたは、新居浜市が市制施行80周年を記念した「ふるさと映画」の制作に取り組んでいることをご存じですか。(1つ選択)

1. 知っている	54人
2. 知らない	96人
無回答	1人
合計	151人



「2. 知らない」(63.6%)と答えた方が全体の約6割となっています。

問12. 新居浜市総合文化施設あかがねミュージアムがオープンしてから2年以上を経過しましたが、あかがねミュージアムを何度も訪れてもらうためにはどうしたらよいと思いますか。
また、繰り返し訪れていない方は、その理由について、できるだけ具体的に教えてください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・興味のあるイベントがあまりない。
- ・来場者にとって魅力あるイベント等を企画し開催する。
- ・イベントなどのPRは十分なされているように思うが、ぜひ行ってみたいという気持ちがありません。
- ・イベントの内容の選定などに工夫をしてみてもいいでしょうか。
- ・イベントの種類を増やす(有名人を呼ぶもの、市民参加型のものなど)。
- ・私はよく利用していますが、美術的なものに興味がない方は、行く機会が少ないかと思います。物産展など、誰でも興味を持てるようなイベント等の充実により、気軽に訪れることができるのでは？
- ・「近藤勝也展」のような親子で楽しめるような展示が少ないのと、周知方法に問題があるのか、今何をしているかなどの認知度が低いように感じます。ワークショップなどももう少し頻繁に開催してほしい。
- ・若者向けの歌手や、テレビなどに出演している有名人やお笑い芸人を呼ぶなど、訪れたいと思うイベントを開催してほしい。
- ・音楽ライブ等を広くやってほしい。
- ・商業演劇などの公演をもっと入れてほしい。
- ・展示物を多くしたり、他県の方の講演なども多くする。コンサートなど色々なイベントをする。
- ・市民発信型のイベントを増やせるとよいのでは。太鼓台の入れ替えイベントは良いが、展示を見ることはあまりない。
- ・大きなイベントではなく、小さなサークル活動の展示等、気楽に見られる身近な発表会があれば良い。
- ・朝市を広場で行う。入場自由な日をつくる(曜日や決めた日や年齢などを決めて)。スタンプやシールを集めて何かお楽しみをつくる。
- ・年会費制を導入して、会員であれば1年間何度でも入場できるようなパスポートのようなものがあれば行きやすいのではないのでしょうか。
- ・美術館は常設展のみでは展示内容が相当充実しているか、コンセプトが明確でないとリピーターの確保は難しいと思うが、それには多額の費用を要することから市民の理解も必要。一般の市民のリピーター対策としては、従来以上に身近な内容の企画展を定期継続的に開催していくしかないのでは。太鼓台の展示とシアターは、市外の知人には高評価で祭りのPRとしては有用。リピーター対策のためには放映内容の定期更新も必要と思うが、是非継続してほしい。
- ・多目的ホールが大きさが中途半端で、有名なアーティストなどを招いたりできないのが残念です。
- ・大規模な催しに対応していないのがもったいない。人数がたくさん入ればもっと活用の幅が広がると思う。
- ・色々な世代の方が来られるようなサークル活動、イベントを行う。昼に行われている「あかがねシネマ」を、仕事をしている方のために夜もしてほしい。
- ・遅い時間のイベントもたまにしてほしい。
- ・子どもや中高生が訪れているのを見かけないので、彼らが来てくれるような催し物を学校側と相談して増やしては。
- ・市民文化センターで行っている行事をあかがねミュージアムに移す。特に、小中学生の発表会等親子で集まる催し物など。

- ・キッズスペースを作ったり、飲食店を増やしてほしい。行っても小さい子どもは楽しめない。雰囲気がい。
- ・子どもたちが行きやすい、行って楽しい企画があれば訪れるきっかけになる。芝生が気持ちいいので、我が家は良く利用している。
- ・市が補助等を行い、安く受講できる体操教室やリトミック、英会話などの教室をしてほしい。
- ・小さい子どもたちが遊びに行きたくなるようなスペースを増やす。内容は、雨の日でも来れるように体を動かして遊べたり、知育玩具など家にはないものに触れさせるなど。「あかがねミュージアム＝大人が行く」イメージが定着してきているので、これからの未来を背負う子どもたちも、あかがねミュージアムに行きたいと言ってくれるようなイベントを考えてほしい。
- ・新居浜の名産のお土産屋さんを作ってほしいです。小さな子どもの遊び場も作って、長く子どもを遊べるような、昼食やおやつも食べられるような食堂も作ってほしいです
- ・内部や周辺の商業施設を増やして、行きやすくする。
- ・一か月ごとに内容の変わるマンスリーショップを作る。
- ・食事できる場所を増やす（カフェやランチメニューの充実）。
- ・カフェがあることを知らない方もいるので、もっとアピールしたらいいと思う。体に優しい食材を使っており、とても居心地の良い空間です。
- ・演奏会や美術展、企画展などのイベント情報の発信が不足しているのではないかな。あまり関心がなくても、目に付いたり聞こえてきたりするPR方法が必要なのではないかな。関心を持って見ていないせいかな、何の催しをしているか知らないことが多い。
- ・県美術館までとはいかなくても展示会を開催し、テレビのCMで宣伝したらよいと思います。
- ・魅力的な公演や展示、イベントを行うと同時に周知が必要だと思います。あかがねミュージアムへ足を運んで初めてイベントを知ることがあります。
- ・開催しているイベントを市政だけでなく、わかりやすくもっと広く、アピールした方がよい。
- ・今まで一度も訪れたことがないが、駐車場が近くにあまりないことと、駅前なので混み合うため、なかなか行く気になれない。
- ・駐車場台数が圧倒的に少ない。常時、第2・第3駐車場を確保しないと集客は望めない。公共交通機関で来る人なんて、ほんの一部だと思います。近隣の商業施設などにもイベント時には協力を要請するなど、無料で車を停めて時間を気にせず楽しんでもらえるように考えるべき。
- ・駐車場が少なく、なかなか自由に使えないし、時間ばかり気にすることがよくある。
- ・駐車場問題が、面倒だと思う一番の理由です。イベントがある時は、行ってみたい気持ちはあっても駐車場がないだろうと先に思ってしまい、行くのをやめてしまう。ネット等で駐車場の空き情報が確認できるようにしたり、近くの施設やホテルの駐車場を借りられないか。
- ・駅周辺に無料の駐車場を増やしてほしい。
- ・駐車場の3時間無料チケットは良いと思うが、完全な無料にしてほしいと思う。
- ・映画やイベントのため訪れるのですが、どうしても早く行って場所を確保すると、駐車時間が超過してしまい追加料金を支払うことになるので、無料時間を後30分延ばせないでしょうか。
- ・駐車場の利用方法の案内、周知を行う。無料券の配布などについても、多くに周知する。
- ・既存イベント参加者へのアンケートの実施。
- ・常に入場者の意見を大切にし、チャレンジ精神で臨むこと。他施設のより良いものを常に取り入れることが大切である。

問13. その他、文化振興に関するご意見等がございましたらご記入ください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・小さい頃から、芸術的な活動を見たり聞いたり参加できるワークショップがあればいいと思います。
- ・子どもの頃に見たり、体験すると、大人になってからもその思いがずっと残ると思います。子どもの参加を無料にするのはどうかと思います。市民文化センター、あかがねミュージアム、マイントピア別子などで文化、芸術に触れる機会が増えるといいです。
- ・子どもたちが広く文化的行事や芸術に触れられるようなまちづくりが必要。地方は都心と違い、そういったものに触れる機会が少なすぎる。学校単位で、劇場へ直接足を運んで観劇する機会を作るとか、家庭単位でそうしやすい環境づくりやその支援などが必要。
- ・学校で子どもたちが地域の伝統文化に触れることが多いことに驚いている。他県から訪れて、新居浜市を知らないで、その行事をきっかけに親も知ることができている。このまま続けてほしい。
- ・市民の中には芸術に親しんでおられる方がたくさんいる。芸術マップのようなものを作成し、こちらの方はこんな作品をつくっているとか、教室案内をしてはどうかと思う。
- ・道路のあちこちにブロンズ像があるのは文化の香りがあって良い。駅の周辺や高専通りの一部広い歩道等にもっと設置されていても良い。
- ・あかがねミュージアムは以前から活用されていない印象がありました。子育て世代、シニア世代など各年齢層に合わせたイベント等の開催が必要かと思います。
- ・新たな文化の発信を学生さんたちに見い出せるイベント開催があれば楽しいのではないだろうか。
- ・関西の中継点であるJR新大阪駅に新居浜太鼓祭りのポスターを設置して、新居浜のPRを兼ねて関西からの祭り見物客に期待する。
- ・新居浜太鼓祭りは全国に誇れる素晴らしい伝統文化だと思います。最近、この伝統文化が色んなイベントに出場しすぎではないかと思います。例えば、新居浜市の夏祭りに参加するものではないと思います。新居浜市の文化振興を真剣に考えるなら、一考してもらいたいです。
- ・別子銅山産業遺産をもっと全国に発信すべきだと思います。
- ・清滝や魔戸の滝等へ行くための、災害による道路の復旧を早急に行ってもらいたい。
- ・近代化産業遺産にはみんな関心があるが、もっと過去の飛鳥、奈良時代の新居浜、そして河内寺や正法寺の縁起についても紹介すべきだと思う。
- ・金子城の再建。人が集まると思う。
- ・多喜浜塩田の情報を今回初めて知りました。塩田事業を市として盛り上げていくべきでは？新居浜産の塩を販売、塩を使った食品、塩田体験、塩田ゆるキャラ等。
- ・市民文化センター大ホールの建て替えは必須だと考える。本格的な演奏会や演劇が新居浜では開催されずに隣市では度々開催されている。会場の問題だと認識している。全国レベルの質の高い文化に、地元で接したい。
- ・松山コミュニティセンターのような、スポーツと文化が共存した施設づくりを望みます。
- ・市民文化センターとあかがねミュージアムの2つの施設が必要でしょうか。財政的な負担も考慮し、一つにする方向で検討すべきかと思います。
- ・アンケートを参考にするのも良いことですが、市民の関心がもともと低いのではと思う。生活から遠いような気がします。「文化」という面では少し違うかもしれませんが、予算経費もかかることですが、例えば他県を参考に、リフレッシュスペースもあるプチ図書館を駅前につくる等はどうか。
- ・各地域で昔から行われている行事（とうど祭り、盆踊り等）の幅広いPR、参加への呼びかけが必要。

<まとめ>

今回のアンケートは、市民の皆さんの芸術文化に関する活動状況や関心についてアンケート調査を行い、より効果的な芸術文化施策を展開していくために実施しました。

まず、本市の魅力につながっている文化資源については「豪華絢爛・勇壮華麗な新居浜太鼓祭り」「別子銅山や多喜浜塩田などの近代化産業遺産」の2項目を挙げる意見を非常に多くいただきました。新居浜太鼓祭りについては「活動している」という回答も際立って多く、市民が「見る」とともに「参加する」文化遺産として、他の追随を許さないものがあると言えます。

あかがねミュージアム1階「太鼓台ミュージアム」におきましては、市内各地区の太鼓台の実物を順番に展示しています。隣接する「360°太鼓祭りシアター」においても、大映像と迫力のある音で太鼓祭りの臨場感を楽しんでいただけるようになっております。太鼓祭りの魅力を1年中身近に体験できる場所として、市内外を問わず多くの方にあかがねミュージアムにお越しいただくため、さらに広報周知に努める必要があります。

また、市の芸術文化を発展させるために「市が行うべきこと」「市民が行うべきこと」につきましては、いずれも「子どもが文化的な体験を行うこと」という意見がトップになっています。今回のアンケートの他にも、市内小中学校の校長先生や文化団体の方から体験学習や見学、遠足での活用など、あかがねミュージアムと小中学校と連携した施策についてさまざまなご提言をいただいております。これらについても実現できるものから事業化していきたいと考えています。

長い歴史を持つ文化センターの今後については、「今後も使い続けるために必要な改修を」「現在地の周辺で建て替えを」「現在地以外の場所で新たに建設すべき」の順で多くなっています。「廃止してもかまわない」という意見も4.6%ありましたが、自由意見の中ではあかがねミュージアム多目的ホールの収容人数が少なすぎるという声も多く、文化センター（大ホール・中ホール）の必要性は今なお高いと考えられます。市民の皆さんが安全快適に利用できる施設であり続けるよう、今後も計画的な改修整備を行ってまいります。

その他、あかがねミュージアムの駐車場が不足していることへの改善要望を多くいただきました。これにつきましては、JR新居浜駅南側駐車場の3時間以内の利用を無料といたしましたので、ぜひ活用していただけるよう周知に努めます。

今回のアンケート調査で特筆すべき点は、あかがねミュージアムにおいて実施してほしいイベントや事業について、非常に多くの意見が寄せられたことです。あかがねミュージアムに対する市民の期待の大きさを感ずることができました。これらの希望をすぐに実現できるわけではありませんが、施設の指定管理者等とも協議し、より一層市民の方に喜んでいただける文化事業の実施につなげていきたいと考えています。

市におきましては、芸術文化振興を総合的、効果的に推進するための指針となる「文化振興計画」の策定に向けて取りかかっております。今後、市民の皆さまのご意見をいただく機会もございますので、引き続きご協力をお願いいたします。

(担当課：文化振興課)